


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成30年2月15日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第5号	質問議員	4番	児玉洋一 
件名	子育て支援・教育環境の更なる充実を			
要 旨				
<p>これからの山北町を支えていくのは、将来を担う若い力であり、若者・子育て世代の転出の抑制やUJIターンを促進し、出生数を増やしていく取組みとして、子育て支援の充実を図っていく。このことは平成29年度の施政方針で町長が述べられている通りです。しかしながら、全国的に少子化が進む現代において、当町の年少人口も10%を下回り、生産年齢人口も55%前後と県下でも極めて低い数値で今後も減少傾向は進んでいくものと思われます。</p> <p>人口の自然減抑制は難しいものの、子育て世代の転出など、社会減を抑制する施策は早急に実施していくべきであり、町政運営における3つの重点施策「山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」部分を中心に子育て支援・教育環境の更なる充実について、町の考えを伺います。</p> <p>(1) 子育て相談窓口を一本化に</p> <p>現在、子育てに関する相談窓口は、妊娠から出産までを「保険健康課」、保育園・こども園は「福祉課」、幼稚園・小中学校は「学校教育課」に分かれており、相談内容によっては所管部署をまたぐこともある。子育てという分野において、今後は妊娠・出産・保育園・幼稚園・小中学校まで、ひとつの所管部署を組織するなど、子どもに関わる総合的な支援体制の整備が必要と思うが、町の考えは。</p> <p>(2) 認定こども園の検証と今後の取組みは</p> <p>やまきたこども園が開設し、一年が経過する。保護者からの声や運営上の課題・問題点等の検証状況はどうか。また、子育て世代が働きやすい環境整備として、他の幼稚園・保育園のこども園化も必要と思うが、町の考えは。</p> <p>(3) 子育て支援充実に向けた新たな施策を</p> <p>当町の子育て支援事業は比較的充実しているとは思いますが、実際に子育て世代が他の地域から移住し、人口増につながっているとは思えない。</p> <p>「山北町ならこんな子育てができる」など、もっと町内外へアピールできる子育て支援として、次の施策の考えはどうか。</p>				

- ① 電子母子手帳や専用アプリ等を活用した子育て情報サービスの促進
- ② 放課後子ども教室の利用日・利用時間の拡大
- ③ 卒園・卒業祝い品（祝い金）事業の導入
- ④ 情報集約と人材育成を目的とした「子育て世代応援会議」などの創設

(4) 山北町らしい魅力あふれる学校づくりを

町内の小中学校は、平成 26 年に中学校を 3 校から 1 校に、平成 27 年に小学校を 3 校から 2 校に統廃合を進めてきた。山北中学校、川村小学校の人数は減少が続き、特に三保小学校についてはこの先、減少幅が加速的に進む懸念があり、変化のない町の教育方針に、地域の保護者は非常に強い不安を抱いている。

山北町らしい魅力あふれる学校づくりとは何か。また、今後再度小学校の統廃合も含めた検討の可能性はあるか、町の考えを伺う。

以 上